

香川県教育委員会事務局  
保 健 体 育 課 長 殿

学 校 名 高松市立木太南小学校  
学校長名 真 鍋 康 秀

## 令和 2 年度 オリンピック・パラリンピック教育実施報告書

### I 事業実施前の課題

- ・ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック (以下オリパラ) が延期になったこともあり、オリパラについての興味が高まっていなかったり知識が十分でなかったりする児童が多いこと。(経験や体験する機会が少ないこと。)
- ・ 昨年度の課題である、全校生にオリパラについての学習が広がっていないこと。

### II 具体的な取組み

#### 1 活動名 (事前学習) : I' m possible を使った学習

(1) 日 時 : 令和 2 年 7 月中旬

(2) 対象者 : 第 5、6 学年 各クラスで実施 5 年 4 クラス 1 5 0 名、6 年 3 クラス 1 0 8 名

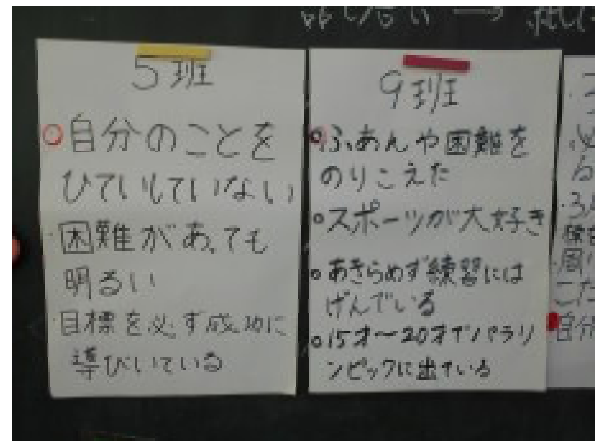
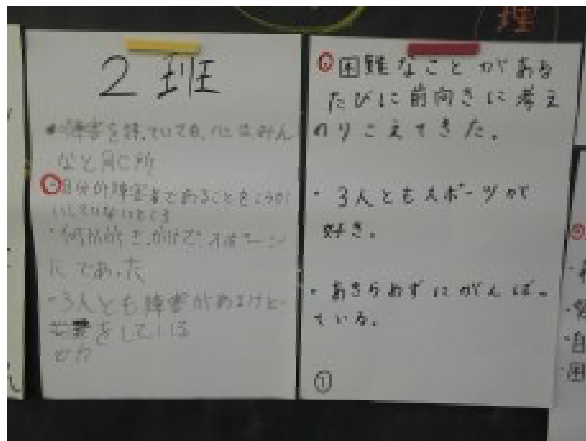
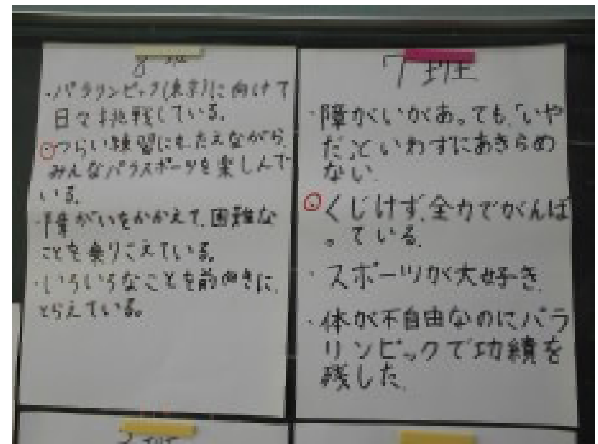
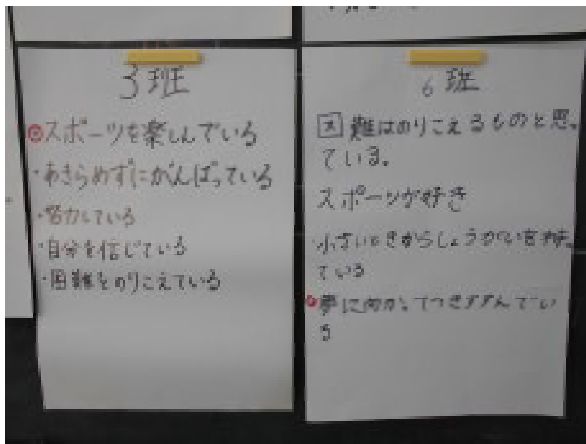
(3) 活動概要及び工夫点 (〇〇の時間で実施)

5、6 年ともに総合的な学習の時間で実施。

オリパラの歴史や種目の道具の紹介やマスコット、パラリンピアン の 生 立 ち 等 を ス ラ イ ド や 映 像 で 学 習 し、そ の 授 業 後 に 振 り 返 り を し た。6 年 で は、自 分 た ち の 生 き 方 に つ な げ る た め に、3 人 の パ ラ リ ン ピ ア ン (香 西 選 手、タ チ ア ナ ・ マ ク フ ァ デ ン 選 手、リ カ ル ド ・ ア ウ ヴ ェ ス 選 手) の 生 き 方 に 共 通 す る 部 分 を 個 人 で 考 え、そ の 後 グ ル ー プ で 話 し 合 い、全 体 発 表 し た。そ の 時 に み ん な の 考 え た 共 通 点 や 特 に す ご い な と 思 う 部 分 に 絞 っ て ま と め る こ と で、「困 難 に で あ っ て も 前 向 き に 取 り 組 ん で い る こ と」や「自 分 を 信 じ て い る こ と」や「夢 に 向 か っ て 突 き 進 ん で い る こ と」とい う パ ラ リ ン ピ ア ン の 生 き 方 や 考 え 方 に 気 付 き、自 分 た ち も こ れ か ら 前 向 き に 生 き て い き た い と い う 気 持 ち が 高 ま っ た。

#### (4) 活動の様子





【グループごとの発表とまとめ、振り返りの様子】

## 2 活動名（中心学習）：ボッチャを体験しよう

- (1) 日時： 令和2年 7月下旬～9月上旬
- (2) 対象者：第5学年 150名、第6学年 108人
- (3) 活動概要及び工夫点（〇〇の時間で実施）

総合的な学習の時間と体育授業の中で実施。各クラスで2時間～5時間ぐらい実施。

ボッチャセットが3セットしかないなので、本来のルールとは違い、1チーム6人とし、一人一球を投げていくようにした。1セットで一球しか投げられないので、それぞれがどこへ投げようか考えたりチームで相談したりしながら取り組むことができ、とても盛り上がりがあった。普段、体育では目立たない児童や体育が苦手な児童も活躍することができ、ボッチャを楽しみながらコミュニケーションも取れていった。

体育授業だけでなく、クラブ活動でボッチャを実施したところもあり、体験したことのある

5、6年生が初めて行う4年生にルールや投げるコツを教えている姿も見られた。

また、エアコンが使える教室や多目的室（和室）内で行うことができるので、活動熱中症対策や3密対策としても、非常によい活動となった。

#### (4) 活動の様子



【ボッチャ体験をしているところ】

## 2 活動名（中心学習）：車いすバスケットを体験しよう

(1) 日 時： 令和2年 10月15日（木）

(2) 対象者：第5学年 150名

(3) 活動概要及び工夫点（〇〇の時間で実施）

5年生の総合的な学習の時間（福祉をテーマ）の中で実施。

1学期に高齢者疑似体験を実施している。（例年であれば車いす体験も実施）

車いすバスケットチームWBCの方々に来ていただいたの車いすバスケット体験を実施。

最初はバスケットに慣れるために、選手3人を10人の子ども達がバスケットに乗って追いかける、鬼ごっこを行った。その後、児童5人対5人に分かれ、選手達も各チームに入ってもらい試合を行った。子ども達はとても楽しんで参加していたが、車いすの操作さやシュートの難しさを感じていた。

1試合1試合の時間は短かったが、全員の児童に車いすバスケットを体験してもらいたいという思いで、講師達と計画を立てた。また、昨年度は活動の最後に講演会を行っていたが、今年度は2週間後に行った人権集会で、WBCの田村さんに講演会を行ってもらおう計画にしていたので、車いす体験の当日は時間いっぱい体験を行うことができた。



#### (4) 活動の様子



【車いすバスケの試合をしているところ】

### 3 活動名 (事後学習) : 人権集会での講演会とまとめ

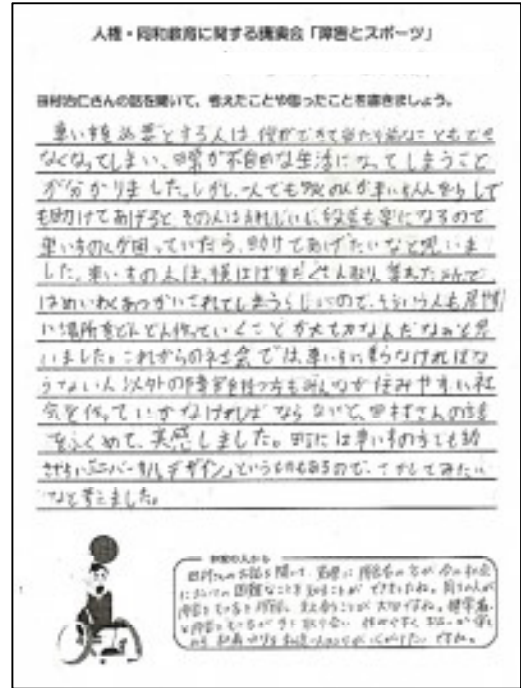
- (1) 日 時 : 令和2年 11月2日 (月)
- (2) 対象者 : 第5～6学年258名、保護者 (希望者)
- (3) 活動概要及び工夫点 (〇〇の時間で実施)

5, 6年生を対象に、車いすバスケットチームWBCの田村さんを講師に招き、車いす利用者が普段の生活で困っている小さな段差のことや、かつて来店拒否されたお店の話など実際に起こった体験を聞いた。児童らは、車いす利用者の気持ちや車いす利用者へ声をかけるなど、自分たちができることを考えた。また、講演を通して、自分ができることを前向きに取り組む大切さを学んだ。

#### (4) 活動の様子



【講演会の様子】



【講演会後のワークシート】

講演会后、児童は聞いたことや考えたことをまとめ、保護者にも読んでもらうことで障がい者理解について親子で考えてもらう機会となった。

今後、5、6年で参観日を利用するなどして、総合的な学習の時間で学習してきたこと（オリパラ以外も）を保護者に発信していく予定にしている。

### Ⅲ 成果と課題

- 本校の5年生の総合的な学習の時間のテーマは「福祉」であり、その5年生が車いすバスケの体験を行ったことで、高齢者や障がい者の気持ちになって考えられることができ、自分たちができることは何かを考えるなど、理解がより深まった。

また、I'm possible を使った学習では、1つ1つ資料を使って学習していくだけでなく、3人のパラリンピアン共通点を書き出して交流する活動を取り入れたことも良かった。そうすることで、「困難にであっても前向きに取り組むこと」や「自分を信じること」や「夢に向かって突き進むこと」など、これからの自分の生き方につながることを全体で共有できた。

- △ 学校の行事の関係で、昨年のようにオリパラに関する学習を計画的に進めることが難しかった。昨年度は6年生のみでも活動が中心だったので、5、6年と2学年で実施できたことは良かったが、やはりオリパラ学習を全校生に広めることがなかなかできなかった。また体育委員会でのボッチャ教室や体験会が実施できなかったのが残念である。高学年では各クラスでボッチャを実施したので、取り組み方を工夫しながら大会などもできたのではないかと課題が残った。